

令和 7 年度
こ教第 1 6 号

新井中央小学校照明LED化工事

図 面 目 録					
番号	図 面 名 称	縮 尺	番号	図 面 名 称	縮 尺
E-01	特記仕様書 (1)	—	E-11	改修後 2階平面図	1/200
E-02	特記仕様書 (2)	—	E-12	改修後 3階・R階 平面図	1/200
E-03	改修前 設計概要・案内図・配置図	1/500			
E-04	改修前 1階・床下 平面図・照明器具仕様	1/500			
E-05	改修前 2階平面図	1/200			
E-06	改修前 3階・R階 平面図	1/200			
E-07	改修後 照明器具表 (NO. 1)	1/200			
E-08	改修後 照明器具表 (NO. 2)	—			
E-09	改修後 設計概要・案内図・配置図	—			
E-10	改修後 1階・床下 平面図	1/200			

新井中央小学校照明LED化工事
仕様書
1. 共通仕様
1. 本仕様書及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。
2. 仮設及び修繕仕様に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
3. 次の各号に該当する仕様及び修繕仕様の項目について、仕様及び修繕仕様の規定を別表に置き換えて適用する。
2. 特記仕様
凡例
(1) 章と項目は、番号に○印のついたものを適用する。特記事項は、○に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項で○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、○印のあるものを適用する。
(3) 仕様項目の(a-b.c.d)は、仕様書の第a章第b節第c項第d項を表す。
仕様項目の(a-b.c.d)は、修繕仕様の第a章第b節第c項第d項を表す。

章	項目	特記事項	根拠項目
25追加特記事項	① 公共事業労働費調査	※ 協力する。	
	2 工事監理方式	共同監理 ・ あり ※ なし	
	3 適用基準等	・ 普通工事電子納品要領 (案) (国土交通省大臣官庁普請部普請計画課監修) ・ 工事運行マニュアル (新潟県土木部都市局普請課作成)	
	4 総合図	※ 作成する ・ 作成しない	
	5 工事成績評定	受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。 (様式等は工事運行マニュアルによる。)	
	6 アスベスト含有の建材	アスベスト含有の建材は使用しない。 ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。	
	7 中間技術検査	低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。 検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。	

<表-1> 設計用標準水平尺度

設置場所	機器種別	「官庁施設の総合耐震・対策設計用基準及び同解説 令和3年版」建築設備の耐震設計による			
		特定の施設 (・ 甲類 ・ 乙類)		一般の施設 (・ 乙類)	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
地下・1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6

重要機器 : ・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置
上層階の定義 : 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

<表-2> あと施工アンカー

1 共通事項	(1) 既設のイボット及びフックボルトは原則として使用しない。やむを得ず既設のイボット及びフックボルトを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。 また、引張強度の確認試験については次による。 () (2) あと施工フックについては機械設備工事標準図 (施工19) による。 (3) 穿孔作業には、専用ドリル、振動ドリルやルードリル等を使用し、必要埋設深さを確保するため、穿孔深さのドリルへの表示やストップ付きドリルの使用等を行う。
2 重要機器用のあと施工フック	(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工フックは金属拡張フック又は接着系フックとし、耐震計算にて選定を行う。 (2) 金属拡張フックの仕様は、次による。 (イ) 金属拡張フックは、(社)日本建築あと施工フック協会の金属系あと施工フック品質性能判定表の性能を満たす製品とする。 (ロ) 金属拡張フックのつり方式は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。 (ハ) 金属拡張フック本体の径及び埋め込み深さは、図示による。 (ニ) ドリルの種類、径及び長さは図示による。 (3) 接着系フックの仕様は、次による。なお、次により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。 (イ) 接着系フックは、(社)日本建築あと施工フック協会の接着系あと施工フック品質性能判定表の性能を満たす製品とする。 (ロ) 接着系フックの埋込深さ及び許容引張荷重については、機械設備工事標準図 (施工19) による。 (4) あと施工フックの施工には、工事内容に相応した施工の指導を行うあと施工フック技術管理士又は主任技士を置く。 (5) あと施工フック作業における技能者は、あと施工フック工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種あと施工フック施工士とする。 (6) あと施工フックの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。

<表-3> 用語の説明

- (1) 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。
(2) 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。
(3) 「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。
(4) 「取外し・再取付」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [1-1. 4. 3]
(5) 「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的の場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。

<表-4> 発生材の処理等

1. 再生資材の利用

下表資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下表の工事からの建設発生土を利用すること。

発生機	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下表の場所に搬出すること。

受入工事名・施設名称	工事場所／施設所在地	連絡先	仮置場所の有無	備考

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下表の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	電線・ケーブル類	金属くず	廃プラ・金属混合	
処理施設名称	最寄りの施設	最寄りの施設	最寄りの施設	
施設所在地				
連絡先				
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。
5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。
7. 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

<表-5> 工事区分表

注) 原則○印を適用する。
ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

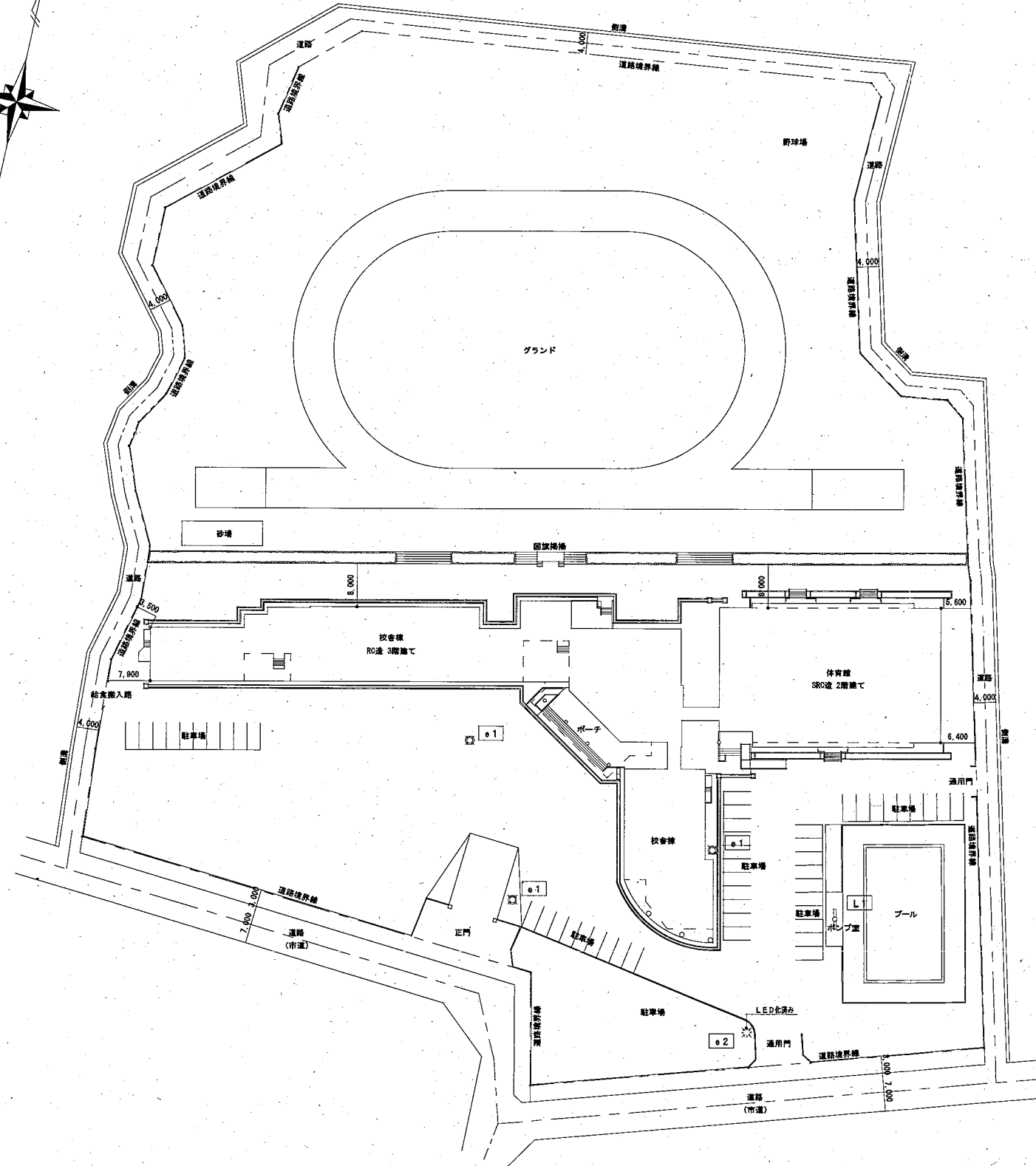
項 目	建	電	空	衛	昇	備 考
解 体 関 係						
1. RC造 (梁・壁・床) の真通孔・開口部	真通穴・材及び取付け	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○				
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	
	真通孔・開口部の養生	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	真通孔・開口部の補強	○				防火区画、防煙区画
2. S・SRC造・はり真通口	スラブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	
	S・SRC造真通鋼管鋼管スラブ・補強	○				
	使用されたスラブの穴埋め	○	○	○	○	
	予備スラブの穴埋め	○	○	○	○	
	建築設計図に記入のあるもの	○				
3. 設備機器の基礎	室内の基礎 (建築設計図に記入のないもの)	○	○	○		
	屋外・屋上の基礎	○				
	屋上基礎で埋さえない穴・穴のない軽微なもの		○	○	○	
	機器取付け用フック・架台		○	○	○	
	屋内受水水槽用の基礎	○				
仕 上 げ 関 係						
軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○				
	補強を要しないボードの切り込み		○	○	○	
	開口部の養生		○	○	○	
電 気 関 係						
電気配管配線	機器付属の別冊盤以降の配管配線 (接地線共)		○	○		二次側
	機器付属の別冊盤への電源供給配管配線	○				一次側
	機器と付属操作及び取付け及び配管配線		○	○		
そ の 他 (工事区分を特に間違えやすい項目)						
天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用	○	△	△	△	小規模は監督員と協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	小規模は監督員と協議
流し台・ガス台・便所・洗面・カウンター		○				衛生設備は衛生設備
洗面化粧台				○		
防煙設備		○				防煙灯は電気設備
ガス漏れ警報器・24h換気扇	機器納入			○		ガス漏れ火災警報設備は電気設備
運動スイッチ	取付		○			
湯沸器	機器納入			○		
運動スイッチ	取付		○			
上記以外	換気扇スイッチ 機器納入・取付		○			

<表-6> 機器取付高

機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することができる。

名称	測点	取付高 (mm)
電力共通	取引用計器	※ 2, 000
	引込開閉器	※ 1, 800
電 灯	分電盤	※ 1, 500 (上端1, 900以下)
	タンブラスイッチ (一般)	※ 1, 300
	「 (身障者用) 」	※ 900～1, 000
	コンセント (一般)	※ 300
	「 (和室) 」	※ 200
	「 (台上) 」	※ 150
	ブラケット (一般)	※ 2, 100
	「 (踊場) 」	※ 2, 500
	「 (屋上) 」	※ 150
	「 (浴室) 」	※ 床高×0. 9
動 力	非常照明器具用遮断器	※ 1, 200
	避難口誘導灯	※ 1, 500以上
	廊下通路誘導灯	※ 1, 000以下
動 力	壁掛型制御盤	※ 1, 500
	手元開閉器	※ 1, 500 (上端1, 900以下)
電 話	操作スイッチ・押ボタン	※ 1, 300
	室内端子盤	※ 300
	中間端子盤	※ 1, 500
音 声	保安器箱	※ 天井高×0. 9
	壁掛位置ボックス (一般)	※ 300
	「 (和室) 」	※ 200
時 計	壁掛形壁時計	※ 1, 500 (上端1, 900以下)
	子時計	※ 天井高×0. 9
拡 声	壁掛形スピーカ	※ 天井高×0. 9
	壁付音量調整器	※ 1, 300
表 示 ・ 電 鈴	表示盤	※ 天井高×0. 9
	壁付発信器	※ 1, 300
	ブザー・ベル	※ 天井高×0. 9
	押ボタン (一般) (身障者用)	※ 1, 300 900～1, 000
イ ン タ ー ホ ン	取付インターホン	※ 1, 300
	身体障害者用	※ 1, 000
	壁付位置ボックス (一般) (和室)	※ 300 ※ 200
テ レ ビ	機器収容箱	※ 1, 500
	テレビアウトレット (一般) (和室)	※ 300 ※ 200
火 災 報 知 器	受信機・副受信機	※ 800～1, 500
	専用総合盤	
	発信器	
	ベル	※ 2, 300
	消火栓・表示灯	※ 2, 100
ガ ス 警 報 器	試験器	※ 1, 500
	LPガス用	※ 300以内
	都市ガス用	※ 300以内

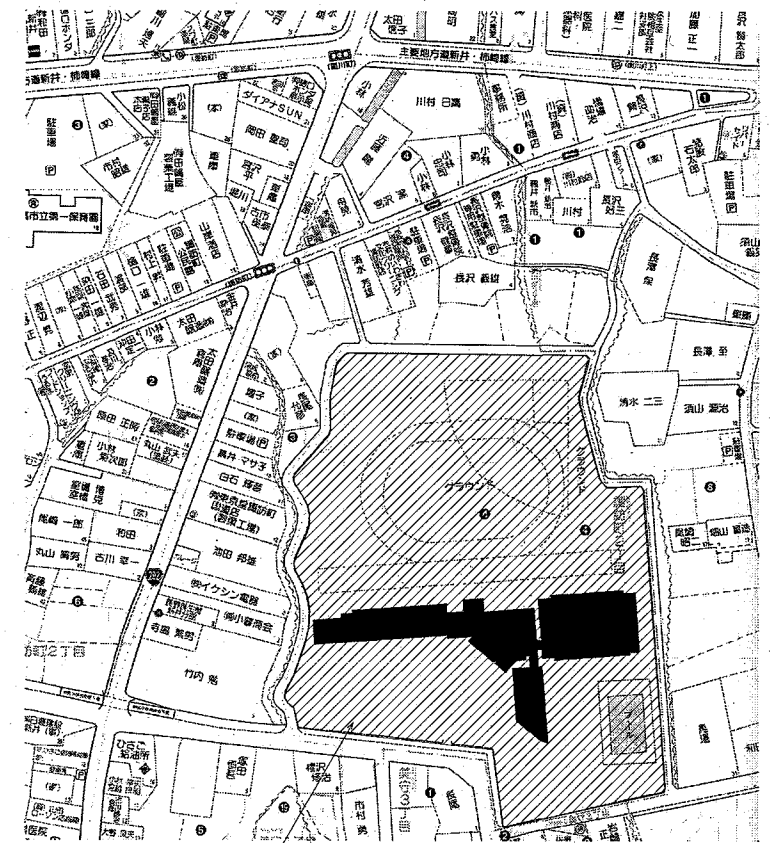
備考



配置図 S=1/500

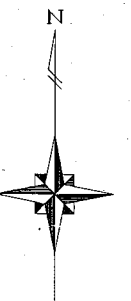
建物概要		【面積表】			
【一般事項】		㎡			
工事名称	新井中央小学校 照明器具改修工事	敷地面積	23,871.00		
建築場所	妙高市諏訪町2丁目4-8 (新井中央小学校)	校舎棟	1,976.473	体育館棟	3,090.484
建物用途	小学校 (校舎・体育館)	1 階	1,692.713	1,030.160	2,722.873
工事種別	照明改修工事	2 階	1,248.988	340.246	1,589.234
用途区域	第1種中高層住居専用地域	3 階	1,431.422		1,431.422
防火区域	指定なし (法第22条指定区域)	PH 階	29.072		29.072
その他の地域地区	指定なし	床面積計	4,402.195	1,370.406	5,772.601
【建築物概要】					
構造・階数	校舎 鉄筋コンクリート造 3階建て+PH階				
	体育館 鉄筋コンクリート造+鉄骨造 2階建て				
高さ	校舎 最高高さ 16.020m 軒の高さ 12.370m				
	体育館 最高高さ 16.985m 軒の高さ 8.250m				

改修工事内容	
校舎棟・体育館棟のLED化の照明改修	
校舎棟——既存照明器具 (蛍光灯・白熱灯・水銀灯等) のLED化を行う。又、既存照明器具がLEDに取替え済みのものは、現状のままとする。	
体育館棟——体育館は、LEDに取替終了しているが、図中、指示あるLED器具は撤去新設とする。	

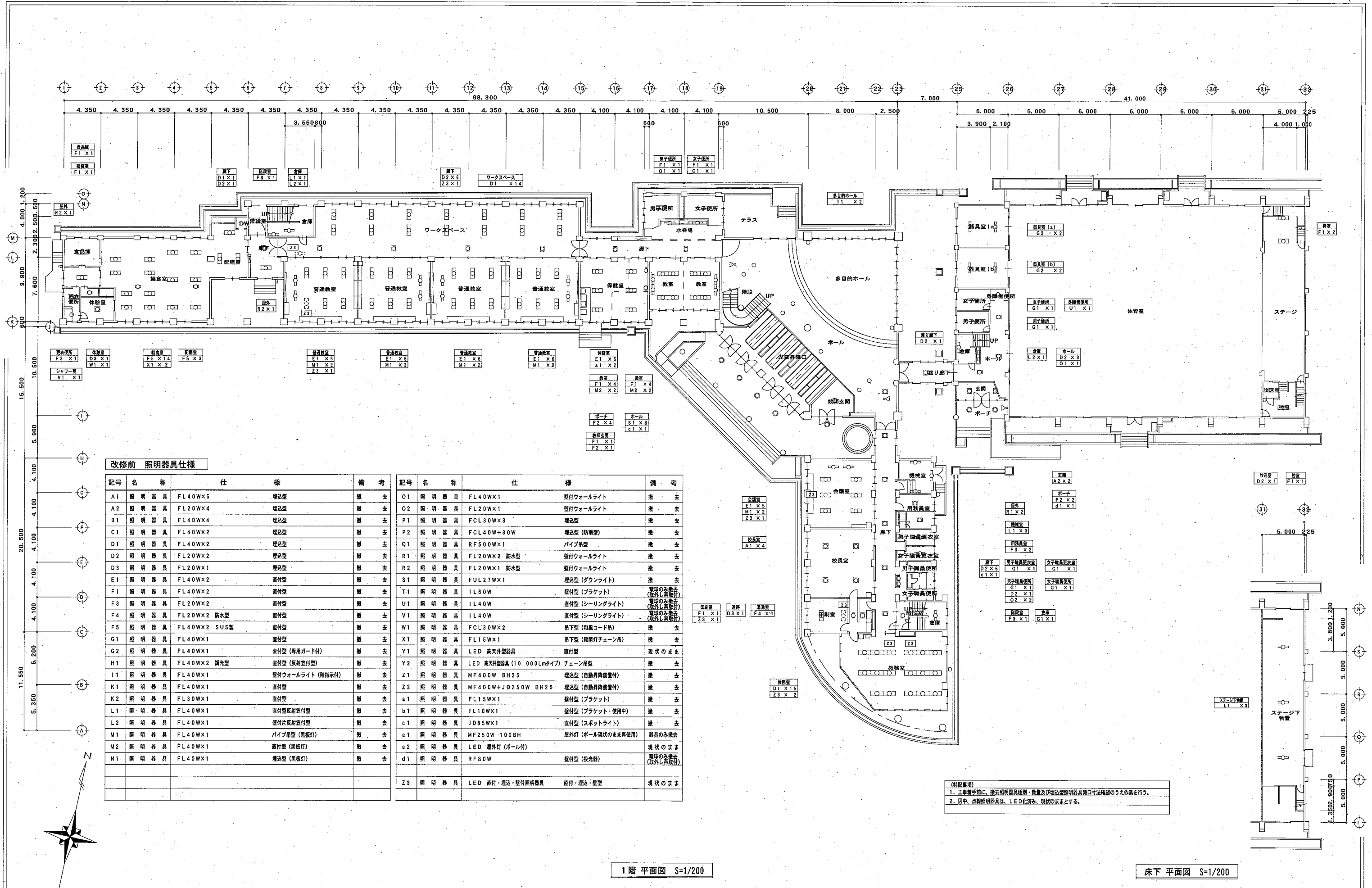


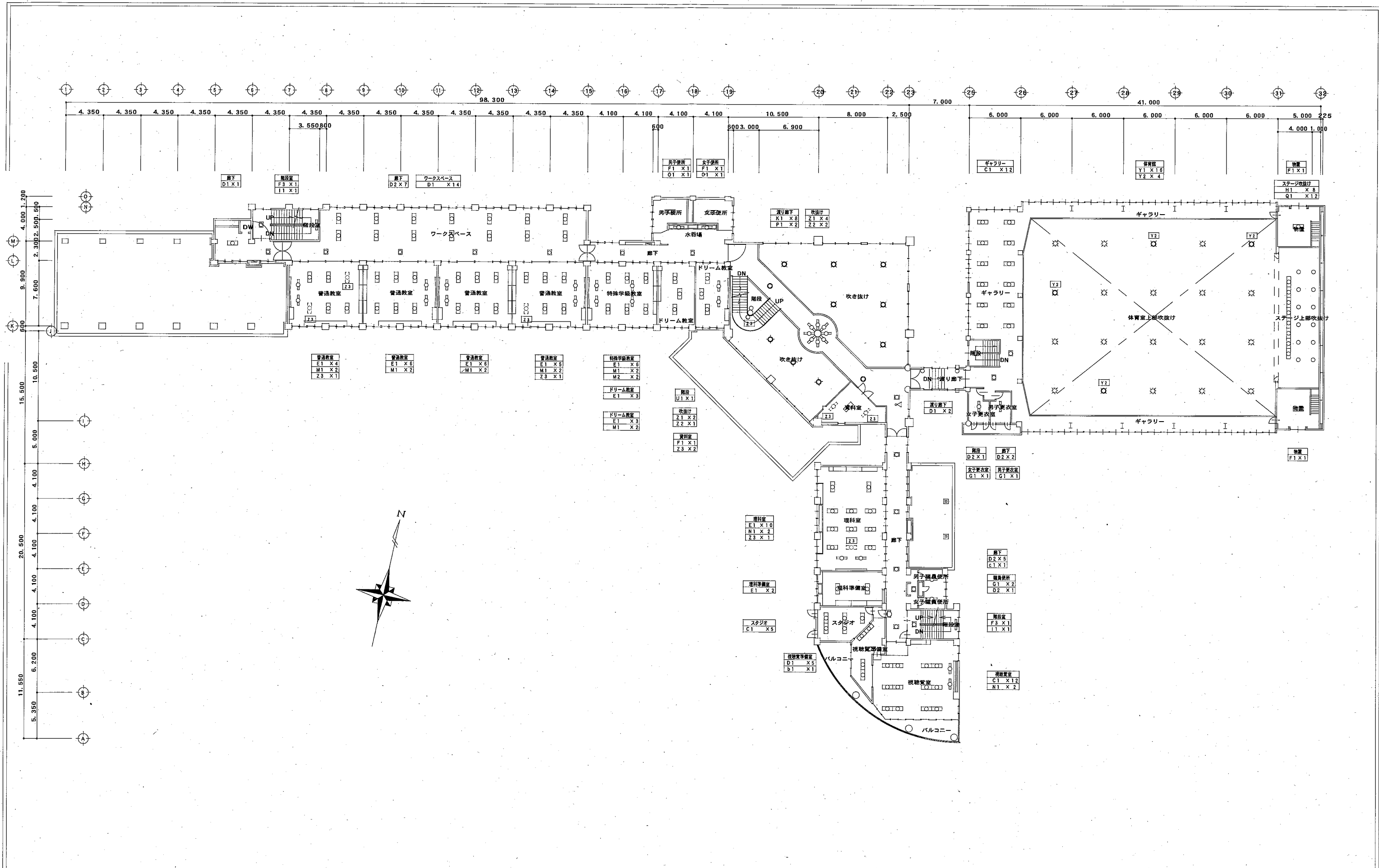
工事場所：妙高市諏訪町2丁目4-8 (新井中央小学校)

案内図 NO. SCALE



備考	設計年月日	担当者	承認	工事名称	新井中央小学校 照明LED化工事	図面NO	E-03
	図面印刷日			図面名称	改修前 設計概要・案内図・配置図	縮尺	
					1/500		

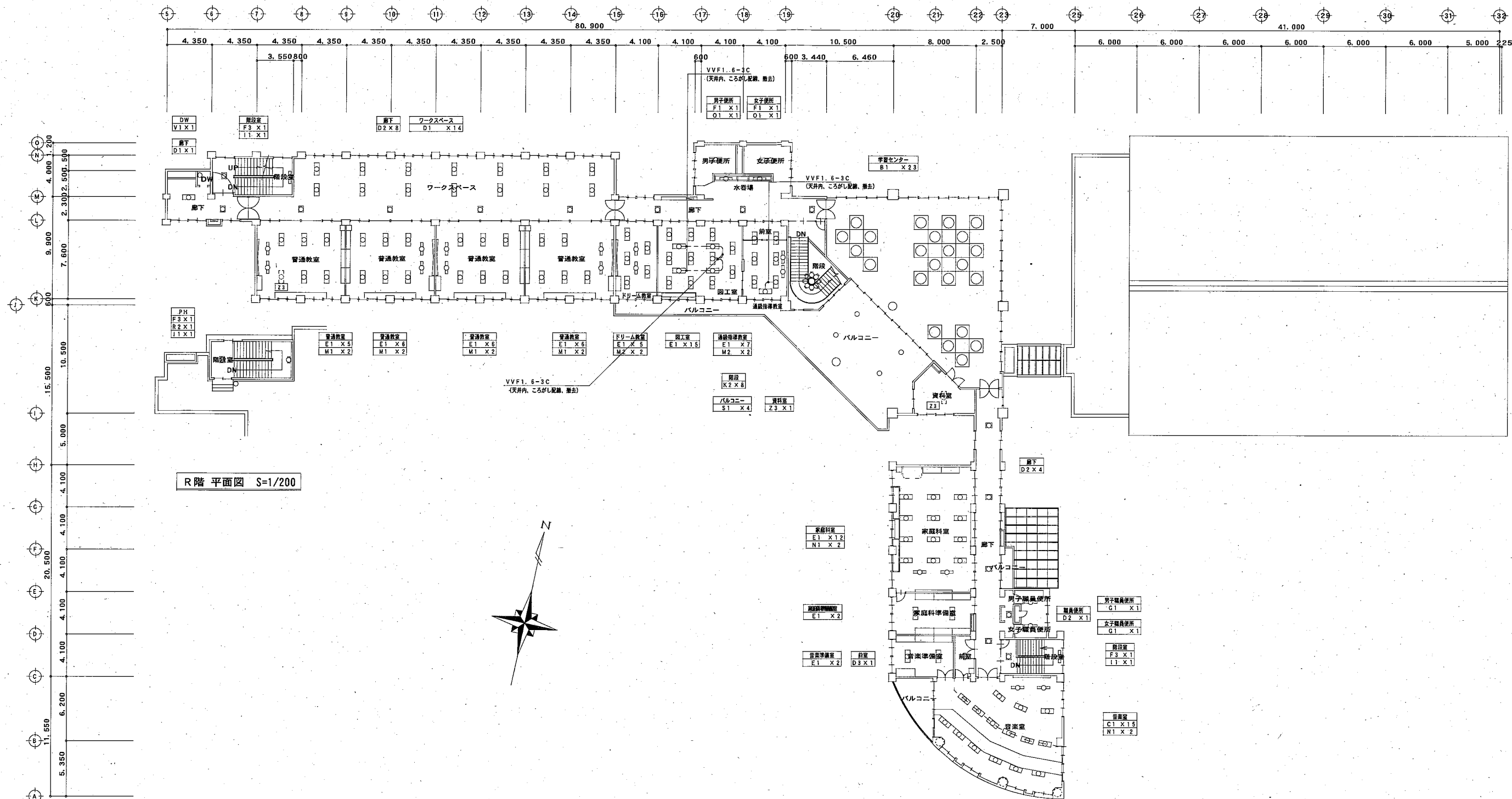




2階 平面図 S=1/200

備考

設計年月日	担当者	承認	工事名称	図面NO
図面印刷日			新井中央小学校 照明LED化工事	E-05
			改修前 2階平面図	縮尺 1/200



備考

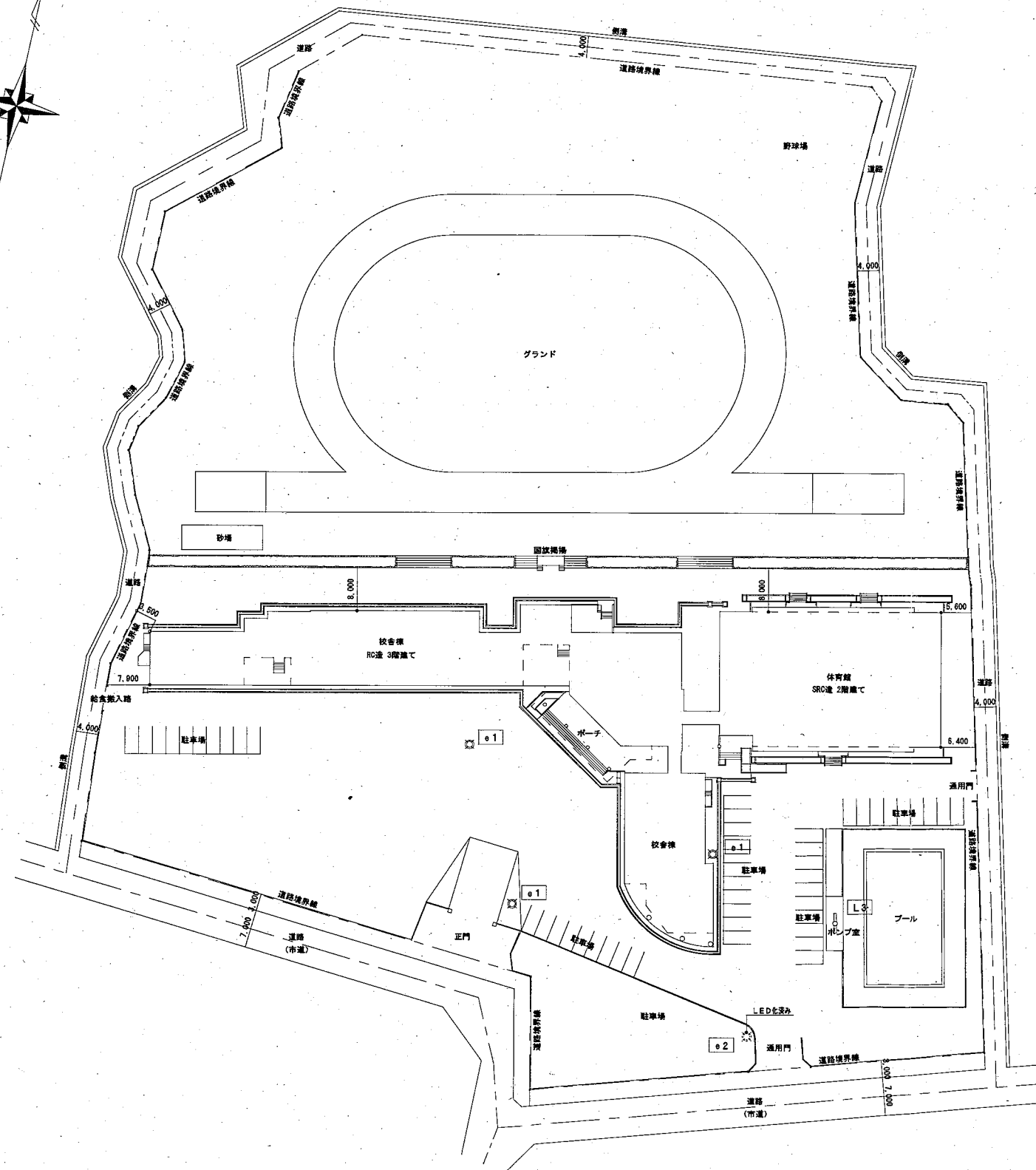
設計年月日	担当者	承認	工事名称	図面NO
図面印刷日			新井中央小学校 照明LED化工事	E-06
			改修前 3階・R階 平面図	1/200

園中、品質は参考品質とし、同等以上とする

備考			設計年月日	担当省	承 担	工事名称	図面NO
			図面印刷日			図面名称	
						新井中央小学校 照明LED化工事	E-07
					改修後 照明器具表 (NO.1)	補尺	

図中、品質は参考品質とし、同等以上とする。

備考				設計年月日	担当者	承認	工事名称	新井中央小学校 照明LED化工事	図面NO
				図面印刷日			図面名称		
							改修後 照明器具表 (NO. 2)		E-08



配置図 S=1/500

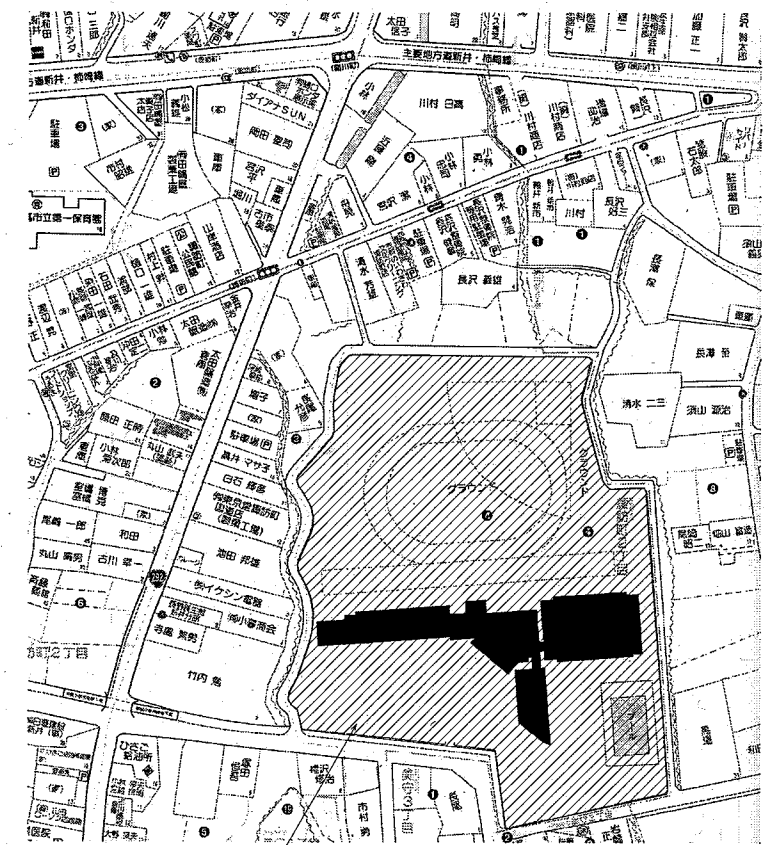
建物概要		㎡			
【一般事項】		敷地面積			
工事名称	新井中央小学校 照明器具改修工事	23,871.00			
建築場所	妙高市諏訪町2丁目4-8 (新井中央小学校)				
建物用途	小学校 (校舎・体育館)				
工事種別	照明改修工事				
用途区域	第1種中高層住居専用地域				
防火区域	指定なし (法第22条指定区域)				
その他の地域地区	指定なし				
【建築物概要】		面積表			
構造・階数	校舎 鉄筋コンクリート造 3階建て+PH階 体育館 鉄筋コンクリート造+鉄骨造 2階建て	校舎棟	体育館棟	計	
高さ	校舎 最高高さ 16.020m 軒の高さ 12.370m 体育館 最高高さ 16.985m 軒の高さ 8.250m	1階	1,976.473	1,114.011	3,090.484
		2階	1,892.713	1,030.160	2,922.873
		3階	1,248.988	340.246	1,589.234
		PH階	1,431.422		1,431.422
		床面積計	29.072		29.072
		床面積計	4,402.195	1,370.406	5,772.601

改修工事内容

校舎棟・体育館棟のLED化の照明改修

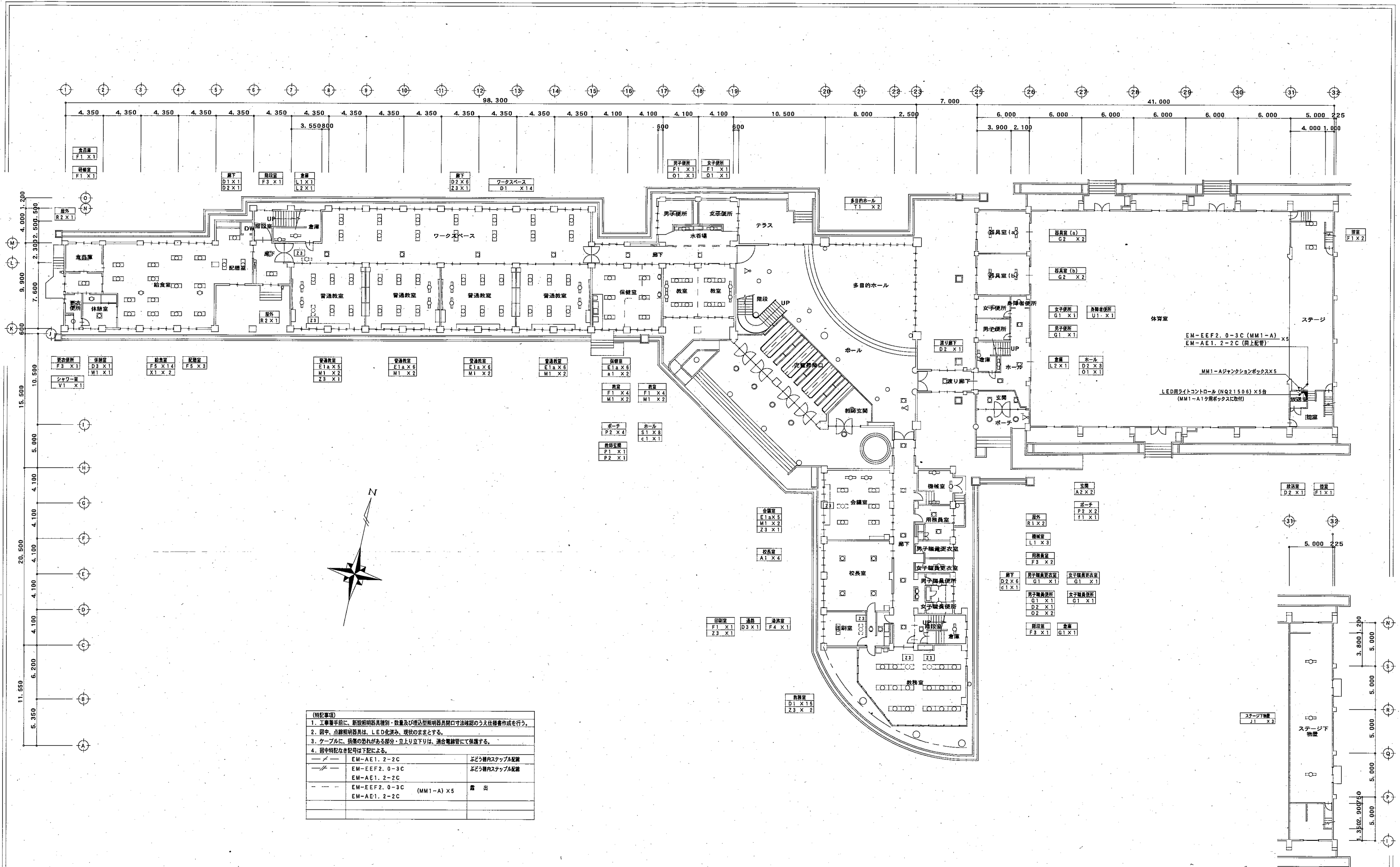
校舎棟——既存照明器具 (蛍光灯・白熱灯・水銀灯等) のLED化を行う。又、既存照明器具がLEDに取替え済みのものは、現状のままとする。

体育館棟——体育館は、LEDに取替終了しているが、図中、指示あるLED器具は撤去新設とする。



工事場所：妙高市諏訪町2丁目4-8 (新井中央小学校)

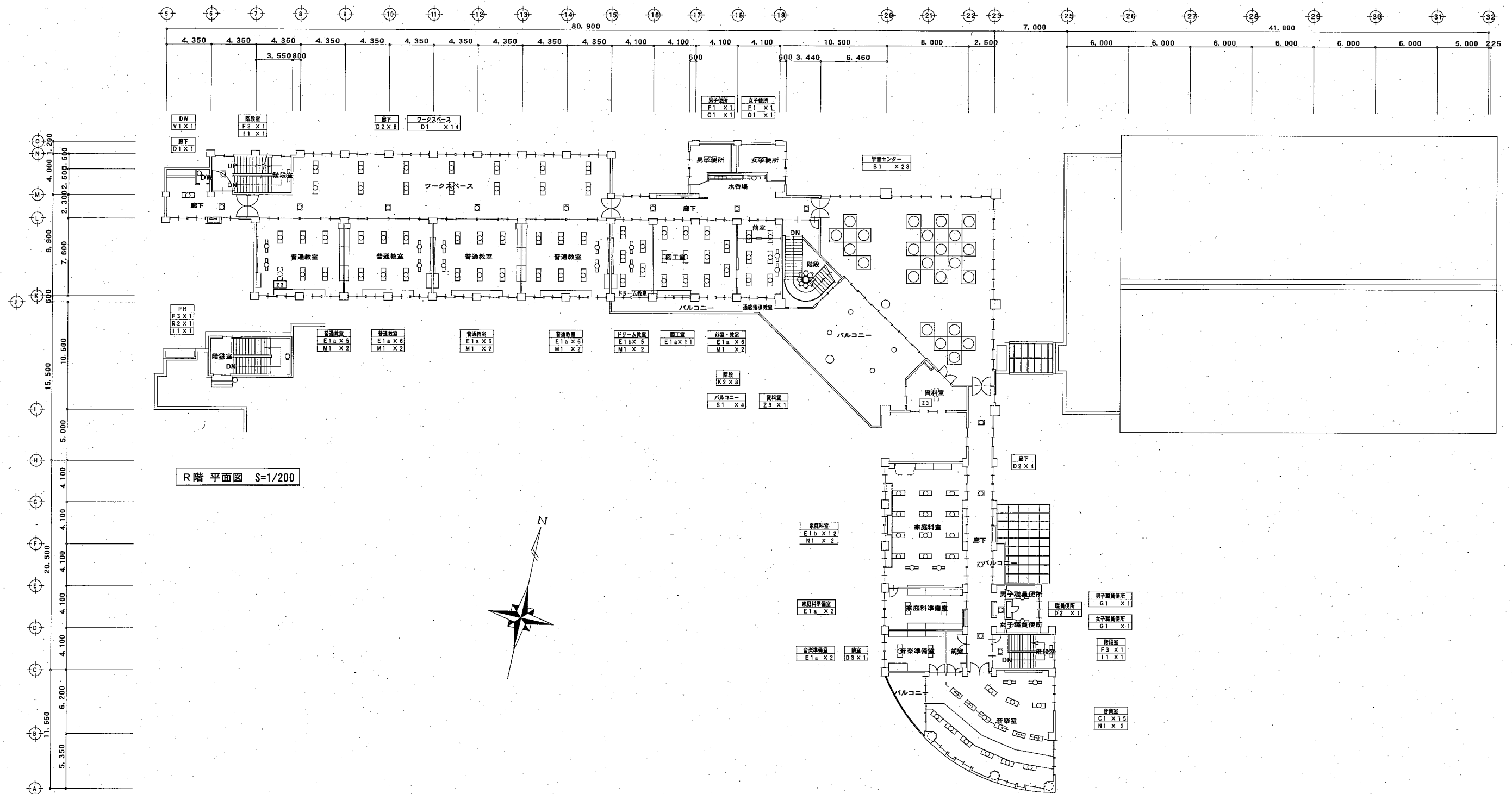
案内図 NO. SCALE



(特記事項)		
1. 工事着手前に、新設照明器具種別・数量及び埋込型照明器具開口寸法確認のうえ仕様書作成を行う。		
2. 図中、点線箇所は、LED化済み、現状のままである。		
3. ケーブルに、損傷の恐れがある部分・立上り立下りは、適合電線管にて保護する。		
4. 図中特記なき記号は下記による。		
—	EM-AE1. 2-2C	ぶどう園内ステップル配線
---	EM-EEF2. 0-3C	ぶどう園内ステップル配線
---	EM-AE1. 2-2C	露出
---	EM-EEF2. 0-3C (MM1-A) X5	露出
---	EM-AE1. 2-2C	露出

1階 平面図 S=1/200

床下 平面図 S=1/200



備考					設計年月日	担当者	承認	工事名称	図面NO E-12
					図面印刷日			新井中央小学校 照明LED化工事 改修後 3階・R階 平面図 縮尺 1/200	